AD-Tech COAT　ソーラーパネル施工方法

基本的な施工は、前洗浄→コーティング→後洗浄、の３ステップです。
細かな段取りや準備物などは現場に応じた工夫が必要になりますので、下記の流れ・機材は、1つの参考としてお考え下さい。

前洗浄		水をかけて、パネル表面の汚れを除去します。 水圧が強すぎると、パネルカバーガラスとフレームの間に水が入り込み、不具合が生じる可能性がありますので、強力な高圧洗浄はお控え下さい。 ノズル
		簡単には取れない固形物などが付着している場合は、ガラス用ケレン器具などを用いて取り除きます。 ガラスケレン
		シャンパーで全体を清掃しつつ、パネル表面の水分を全体に伸ばします。 シャンパー
コーティング		バフに薬剤をつけます。 研磨剤が沈殿していますので、よくボトルを振ってから使用して下さい。 薬剤使用量は、パネルの大きさや汚れ具合によって変動しますが、おおよその目安としては、パネル1枚あたり約15ccです。調味料用ボトル「さじかげん」を使うと、15ccずつ計量して使用可能です。
		ポリッシャーで磨きながらコーティングしていきます。同じ場所を2往復磨いてから、位置をずらしていきます。バフのサイズではなくバフを付けているアタッチメントのサイズごとにずらしていきます。 さじかげん　シングルポリッシャー
		フレーム付近は、うまくコーティングできないことが多いので、しっかりと磨いて下さい。とくに、下側フレーム付近は汚れが貯まりやすいので、入念に磨きます。

後洗浄		水をかけて、研磨剤を洗い流します。
		シャンパーで、研磨剤を除去します。 （参考） リーチポール付きのシャンパーとスクイージを使用すれば、地上からも洗い流し作業が可能です。
		スクイージーで水切りをし、研磨剤を除去します。 仕上げは、マイクロファイバークロスで拭き上げます。 スクイージー クロス
備考	・ポリッシャーの回転により、周囲のパネルにも研磨剤が飛び散ります。そのままにしておくと乾いて拭き取りにくくなりますので、施工しているパネルの周囲にも水をかけておくことで最終仕上げ時が楽になります。 ・パネルが乾いた状態でポリッシャーで磨く、または長く磨き続ける、などのことをすると、ガラスが摩擦で焼ける可能性がありますのでご注意下さい。 ・参考：その他機材・工具紹介 発電機 ドラム 延長コード ポリタンク 水貯め用ケース・洗浄機 特注治具	

【参　考】 現場に応じた足場の工夫

特注治具

手製治具

吸盤

作業台

足場板

手製足場板